

■ 目標値未達成の要因について

法人名 公益財団法人 大阪府漁業振興基金

{ 1 }

成果測定指標	単位	R4年度目標値	R4年度実績値	目標値との差
稚魚歩留まり達成率	%	135.0	133.6	-1.4

未達成の要因				要因分析（要因と考える根拠）						要因分析を踏まえた今後の対応
①	トラフグの歩留まり率の低下			令和4年度から新たに栽培漁業対象種となったトラフグについては、健全な種苗の確保のために、（噛み合い防止の）歯切りを行っているが、作業後のへい死が予想以上に多かったことから歩留まり率が低い値となった。（作業は専門職だけでなく非常勤職員も多く動員して行ったため、ハンドリング等で個人差が生じたことが原因と考えられる。） ※令和4年度は2水槽のうち1水槽のみ歯切りを行った。 ①歯切り 1万尾収容 ⇒ 6400尾取上げ（歩留まり率 64%） ②歯切りなし 1万尾収容 ⇒ 9700尾取上げ（歩留まり率 97%）						水産技術センターと連携し、へい死原因を分析するとともに、作業員のハンドリングや標識装着技術の向上に向け技術指導を徹底し、歩留まり率の向上に努める。
	関連項目名	トラフグ歩留まり率	単位	%	R4当初想定値	97.0	R4実績値	80.5	差	
②										
	関連項目名		単位		R4当初想定値		R4実績値		差	
③										
	関連項目名		単位		R4当初想定値		R4実績値		差	

■ 目標値未達成の要因について

法人名 公益財団法人 大阪府漁業振興基金

[2]

成果測定指標	単位	R4年度目標値	R4年度実績値	目標値との差
種苗生産コスト	千円	53,000	58,483	5,483




未達成の要因				要因分析（要因と考える根拠）						要因分析を踏まえた今後の対応
①	水道光熱費の高騰			・水道光熱費については、当初約 10,000 千円を見込んでいたが、電気料金等の高騰により当初の想定より約 3,240 千円増加した。						節電等で水道光熱費の削減に努めるほか、キジハタの卵とヒラメの種苗を交換するなどして、消耗需用費等の削減に取り組む。
	関連項目名	水道光熱費	単位	千円	R4当初想定値	10,000	R4実績値	13,240	差	
②										
	関連項目名		単位	千円	R4当初想定値		R4実績値		差	
③										
	関連項目名		単位		R4当初想定値		R4実績値		差	

■ 目標値未達成の要因について

法人名 公益財団法人 大阪府漁業振興基金

〔3〕

成果測定指標	単位	R4年度目標値	R4年度実績値	目標値との差
管理費	千円	27,000	27,341	341

未達成の要因				要因分析（要因と考える根拠）						要因分析を踏まえた今後の対応
①	給料手当の増			給料手当について、当初約 14,013 千円と見込んでいたが、非常勤単価の見直し等により約 13 万円増加した。						 人件費の抑制含めて、種々の経費について節減努力を行う中で管理費を縮小する。
	関連項目名	給料手当	単位	千円	R4当初想定値	14,013	R4実績値	14,144	差	
②	福利厚生費の増			福利厚生費について、当初約 2,369 千円と見込んでいたが、雇用保険料の改定等により約 10 万円増加した。						 人件費の抑制含めて、種々の経費について節減努力を行う中で管理費を縮小する。
	関連項目名	福利厚生費	単位	千円	R4当初想定値	2,369	R4実績値	2,466	差	
③										
	関連項目名		単位		R4当初想定値		R4実績値		差	